

ここでは、JILS 総合研究所の調査研究、標準化活動や各種委員会動向等から、最近のホットな話題を適宜ピックアップして配信致します。

メコン地域では、昨年末のクリントン米 국무長官のミャンマー訪問を契機に、2010 年末の総選挙以降、国会の招集、新大統領選出に続く政治犯の釈放等の民主化への動きと共に、経済開放に伴うミャンマーへの日本企業進出等が注目されるようになりました。

ミャンマーの経済発展にとってはインフラ整備が最大の課題ですが、物流網としてのタイ・ミャンマーの陸送路も再び注目されています。さらに、2011 年 11 月に開通した第三メコン友好橋を利用するタイ・ベトナム間の新たな三国間輸送ルートの活用可能性も注目されています。

インドシナ半島のクロスボーダー輸送の国際運輸協定には CBTA (Cross Border Transportation Agreement) があります。アジア開発銀行 (ADB) の主導の下、1996 年の原案作成以来、ゆっくりとではありますが、同協定の実現に向けた努力が行われています。

2010 年末までの署名・批准状況は以下のとおりです。

- 1) CBTA 本文の署名・批准：2003 年 12 月 31 日に参加 6 ヶ国の批准終了
- 2) 20 の付則及びプロトコル：2007 年までに署名終了。批准が遅れている国はミャンマーのみです。タイは 14 付則について批准済み。他の国は全て批准済です。
- 3) CBTA の優先的適用は、第二友好橋ルートの東西回廊のタイ、ラオス、ベトナムの 2 つの国境と中越国境（ラオカイ）の 3 地点で実施されています。東西回廊では 2009 年に通関システムの改善も適用されています。

優先的適用の国境はモハン・ボーテンの覚書が締結され、さらに 2 地点が追加される予定です。また、通関システムに関する官民パートナーシップ制度が設けられるようです。ADB の東西回廊はベトナム中部からミャンマーまでのルートですし、ミャンマー側の道路の開通やミャンマー・タイ国境への優先的適用に関する覚え書の締結に向けた交渉も進められており、今後の改善が期待されます。

CBTA の進捗状況に関する ADB 資料は下記資料を参照して下さい。

Yushu Feng, Senior Regional Cooperation Economist, Asian Development Bank,  
Briefing Report Transport and Trade Facilitation in GMS, 2011 年 6 月 1 日

【問合せ先】 JILS 総研 吉本 yoshimoto@logistics.or.jp